

月

2024.6

Vol. 12

GOVERNOR'S  
MONTHLY LETTER

信



五蔵池

2023-2024年度  
国際ロータリー第2740地区  
ガバナー 緒方 信行





2023 - 24 年度 国際ロータリーのテーマ



## 世界に希望を生み出そう

### *index*

---



---

ガバナーメッセージ.....	1
副ガバナー退任挨拶.....	3
ガバナー補佐退任挨拶.....	4
地区委員長退任挨拶.....	8
国際青少年交換委員会セミナー報告.....	17
長崎北東ロータリークラブ創立50周年記念報告.....	18
佐世保北ロータリークラブ創立40周年記念報告.....	19
2024年3月会員数・出席報告.....	20
新会員紹介.....	21
寄付者紹介.....	21
私の国際大会・編集後記.....	裏表紙

#### 表紙説明 「五蔵池」

佐世保市吉井町の五蔵岳森林公園で、大雨が降ると水がたまって姿を現す五蔵池。水面に木々が映り込む神秘的な景色は「幻の池」とも呼ばれる。池周辺はハマダイコンおよびアキニレ群生地となっている。

## Governor's Message



## 終幕と希望

2023-24 年度 第 2740 地区 ガバナー 緒方 信行

## 終幕

And now, the end is near(そして今、終わりが近づき)

And so I face the final curtain(私は終幕を前にする)

My friend, I'll say it clear I'll state my case, of which I'm certain

(友よ! 私はハッキリと言う 私の場合はこうだったと確信をもって言おう)

(“My way” の一節。)

いよいよ最終月になりました。今年は私にとって非常につらい苦しい1年でした。マッキナリーRI会長の言う、メンタルヘルスを私自身が必要としました。今年は私が交通事故後遺症による行動障害のために、私が最大目標とした、全てのクラブの訪問をすることさえ不可能でした。かろうじて、地区大会、第5、6グループのIMには参加することができましたが、残念ながら、多くのことはできませんでした。それ故に会員の皆様にご迷惑をおかけしたことがずっと、心の大きな重しとなっていました。

千葉憲哉副ガバナーから「ガバナーはパストガバナーになってからも多くの地区や全国、国際レベルでの仕事が待っていますから、気を取り直して、頑張ってください。」とのコメントを頂き、まだ今からだな! と思っておいております。この1年、いやエレクト年度も含めて、10名のガバナー補佐の皆様、ガバナー事務所のスタッフ、佐世保北ロータリークラブ、そしてパストガバナーの皆様、2700地区福岡東ロータリークラブの皆様(そして多くの地区大会に出席するなどの力

添えをしてくれた妻ひとみからも)、多大なご支援を頂きました。

私の病の為に、第2740地区が他の地区に遅れをとってしまうのではないかとこの1年の気がかりでした。その不安が消えたのはIMでの皆さんの発表でした。私が立てた8つの地区目標(重点項目)を第2740地区の会員が理解して、行動してくださいました。私と副ガバナー、村瀬地区幹事、富田地区大会実行委員長をはじめ、ガバナー事務所の多くのスタッフが絶えず、意見交換し、私の目標の実現に力を貸してくださいました。特に、私と千葉副ガバナーの間を取り持ち、懸命に地区を引っ張ってくれたのが村瀬地区幹事です。多くの行き違いを自らかぶってくれて、じっと耐えてくれました。公式訪問には地区副幹事も同行し、そして佐世保の第5、6グループの公式訪問には必ず、佐世保北ロータリークラブの会員が同行、IM、クラブ周年行事にはパストガバナーの皆様がサポートしてくださいました。地区、クラブ総出での支援でした。事業実施に当たっては第2740地区の全クラブがコロナ禍

の空白から立ち上がりがあったことが幸いしました。

1年を振り返って、地区目標に対する成果を挙げてみたいと思います。

- ①RLIの受講者が増えたこと。
- ②RYLAの新しい改革がスタートしたこと。
- ③衛星クラブの理解が少しずつできて、産声があがりそうなクラブがあるということ。
- ④国際青少年交換委員会では新しく、地区全体でこの委員会の主旨を理解・協力していただくために、初めて地区主催のセミナーを開くことになったこと。
- ⑤全グループでIMを実現できたこと。
- ⑥代理により全てのクラブを公式訪問できたこと。

「ONE Q-shu」の下に九州4地区がロータリー奉仕デー、ポリオ寄付運動等、大きくロータリー・イメージの向上に貢献したことは近年にない出来事でした。

- ⑦デジタル化推進でZOOM会議が利用できたこと。

一方で、次年度に送らなければならない問題点もあります。

2019年から始まったローターアクトの新しい流れが押し寄せてきています。ローターアクトクラブが正式にロータリークラブと同格になったために、ローターアクトクラブの代表が新たに地区の委員会に参加しなければならないことです。RIの情報ではローターアクト出身のガバナーがすでに2名いると聞いて驚いています。

次に、多くのクラブで会員増強が引き続き課題となっており、クラブ会員数が1桁のクラブさえあります。もっとグループ内でそのクラブを支援する方策を練っていただきたい。地区でもクラブでも戦略計画委員会が、多年度にまたがって戦略を立てることが当たり前になり、多くのクラブから戦略をどのようにして作成したらよいか？との相談を受けるようになりました。新しい社会奉仕活動も地元を向けて、子供食堂など他の奉仕団体と一緒に行動する新しい流れが出来ています。また、地震、水害等が頻発し、全国のみなら

ず、外国の災害にも支援活動が必要になってきています。地区のグローバル補助金、地区補助金による支援活動も様々でした。

### 希望

次年度のRIテーマの発表を見て驚きました。「ロータリーのマジック (The Magic of Rotary)」「平和を優先する」「継続と変化のバランス」でした。私の年度の地区運営方針「継続と革新の理想的なバランス」と、うり二つです。私の方向性は間違っていなかったのです。ステファニー A. アーチック会長も革新と継続のバランスを取ることに難しさを説明しています。変えなければならないこと、変えてはならないことを区別する難しさです。「変えんちゃ よかさあ」とつい前例主義に流れ、新しいことを実施することへの抵抗が出てきます。ガバナーにとって永遠の課題かもしれません。しかし、PETSに参加して私は安心しました。デジタル化推進、IMの開催、ロータリー奉仕デー、ポリオデーの開催、ロータリーファミリー、公共イメージ推進、衛星クラブ設立など多くの事業を継続していただけます。これぞ石坂ガバナー年度の戦略計画です。

一方で、ロータリーの価値の再発見として新しく「月桂樹プロジェクト」が立ち上がります。環境問題への取り組みです。私の夢が広がり、石坂エレクトがその“希望の花”を咲かせてくれる年度になることが見えてきました。私も体調が戻り次第、全面的に石坂ガバナー年度を支援したいと思っています。

### 最後に

最後のガバナー月信となりました。クラブ会長・幹事の皆さまが1年間読んでくださり、少しでもクラブ運営のための参考になったのであれば幸いです。

第2740地区の55クラブがさらに発展することを期待して筆をおきます。

## 副ガバナー退任挨拶



## 退任にあたって

2023-24 年度 第 2740 地区 副ガバナー 千葉 憲哉

ようやく、副ガバナーの任期が終了します。退任にあたり、ご挨拶申し上げます。

前年度、佐賀市での地区大会において、次年度の佐世保市での地区大会予告がなされ、緒方ガバナーを真ん中にして、佐世保北ロータリークラブのメンバーが叫んでいました。

“次年度、佐世保でお会いしましょう！”と。

緒方ガバナーの掲げた地区運営方針は、“継続と革新の理想的なバランス”でした。

ロータリー活動に邁進し、佐世保北ロータリークラブを成長させ、いよいよ、ガバナーとして、活躍する日が近くなってきました。

しかし、3年前の高速道路での交通事故の後遺症が突然悪化し、受診、通院、リハビリテーションが必要となりました。

ロータリー章典には、ガバナーが任務を履行できない場合のために副ガバナーの制度が設けてあります。副ガバナーは、一時的にガバナーの任務を代行します。緒方さんは、GETS受講後なので、ロータリーの規定により、新ガバナーとして緒方さんが確定しています。そして、もしも任務継続できなくなった場合は、パストガバナーだけに副ガバナー就任資格（過去にGETS受講済み）があります。

一定期間リハビリすれば治るはずだから、副ガバナーを設けることで対応しようと諮問委員会で決定し、審議の結果、私が副ガバナーとなりました。

まずは、ガバナー公式訪問の実施です。地区幹事は、緒方ガバナーにより、村瀬高広君が指名されており、さらに副幹事複数人が任命されていました。村瀬地区幹事をはじめ、佐世保北ロータリークラブの会員たちには、一丸となり、この一年を立派にやり遂げようという意気込みが感じられました。

一方、緒方ガバナーの状態は一進一退で、シビアな状況でした。疾患が整形外科、神経内科の領域にかかるので、両方受診し、根気よくリハビリしなければなりません。ガバナー公式訪問のほうは、10グループのガバナー補佐の皆様にご協力頂き、クラブの皆様にご理解頂いて、無事、終えることができました。

パストガバナーの皆様にも公式訪問へのご出席をお願いしました。代行して頂くこともありました。ご協力に改めて感謝申し上げます。例年にはないことで、大変だったと思います。

そして、緒方ガバナーは、10月の地区大会でガバナー挨拶をすることができました。また、奥様には、他地区の地区大会にガバナー代理としてご出席頂き、感謝申し上げます。

現在も、緒方ガバナーはリハビリを続けています。手術の要否の検討もなされています。

しかし、緒方ガバナーが準備していた衛星クラブ創立、九州4地区合同事業（ONE Q-shu）、全てのグループでのIM開催などは、順調に実施できました。緒方ガバナーを支えて副ガバナーとして地区活動を遂行することも、地区のロータリアンの皆様の寛容と友情に支えられて初めてできたことでした。誠にありがとうございました。

ガバナー補佐退任挨拶

第1グループ ガバナー補佐

牟田 清敬

佐賀RC



ガバナー補佐の退任挨拶を考えるにあたり、一年前の就任挨拶を読み直しました。何が出来て、何が出来なかったのかを考えました。

国際ロータリーの方針である「世界に希望を生み出そう」というスローガンは、個人である私にとっては、あまりにも大きな課題でした。相変わらず、世界中、各地で紛争が起きています。これからも希望の灯を発信していく必要があります。

皆さん、共に頑張りましょう。

緒方ガバナーが挙げられた運営方針である「継続と革新の理想的なバランス」は、どうでしょうか。従来 of 行事をこなしていくという面では、第1グループでは、継続については順守出来たと思います。革新はどうだったのか。新しいことを始める、あるいは、何かを改めるには、非常にパワーが要ります。私では力不足だったかもしれません。うちは、こんな改革を行ったぞ、というクラブがあれば、教えてください。

体調不良の緒方ガバナーを支えるはずが、大した力になれずに本当に申し訳ありません。千葉副ガバナーの大活躍には、本当に頭が下がります。お疲れ様でした。あと、村瀬幹事もお疲れ様です。村瀬幹事の元気さにパワーをもらっていました。緒方、千葉、村瀬トリオ、万歳！

徒然なるままに書きましたが、改めて、大した事はしていないと反省しました。第1グループの皆様、これまでの応援、本当に感謝しております。有難うございました。

第2グループ ガバナー補佐

山崎 清二

神崎RC



一昨年の12月に始まり、事前研修を経て7月の就任、そして間もなく退任に至りと、瞬く間の1年でした。その間、第1グループ・第2グループの各クラブの会長、幹事並びに会員の皆様方には多大なご支援を頂き感謝申し上げます。おかげさまで、今年度はすべての合同事業を実施することができました。

順番の入れ替えなどもありましたが、9月のロータリー奉仕デーには、佐賀RC様のおかげもあり、東与賀海岸のシチメンソウ群生地清掃を去年に引き続き行うことができました。早朝からにもかかわらず大勢のロータリアン、地域ボランティアの方に参加していただきました。

同じ週には、第1グループ・第2グループの合同例会を佐賀南RC様のお力添えで盛会裏に執り行うことができました。

また10月の地区大会においては、第1グループ、第2グループの多くの皆様に登録をしていただいたことと、大会での新しい取り組みであり、九州4地区合同公共イメージ向上策として行った「青少年の集いポリオデー募金活動」がとても印象に残りました。

2月の合同IM、5月の合同親睦ゴルフも、第1グループの小城RC・牛津RC様の骨折りにより、多数の会員の皆様に学び、楽しんでいただきました。本当にありがとうございました。

ロータリーの目的の一つに、知り合いを広めながら奉仕の理念を実践していくことができます。本年度も各クラブの皆様と親睦を深めながら進められました事に深く感謝申し上げます。

さて、緒方ガバナーが推進されておられます衛星クラブの設立にはまだ至っておりませんが、第2グループ全体では各クラブ共に会員増強に力を注いでいただきました。これからの取り組みとして次につながることを祈念申し上げます。

結びに、緒方信行ガバナーをはじめ、千葉憲哉副ガバナー、村瀬高広地区幹事、そして地区役員・事務局の皆様方には丁寧なご指導を随時いただき、感謝の念に堪えません。改めてお礼申し上げます。また、千葉憲哉副ガバナーはじめ村瀬高広地区幹事、役員の皆様方には、緒方ガバナーをしっかり支えるという強い想いを私も肌で感じさせていただき、これこそロータリーの精神だと感服いたしております。この想いを55クラブの皆様へ届けていただいたことで、これからの2740地区の益々の隆盛を信じ、祈念申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。

## ガバナー補佐退任挨拶

第3グループ ガバナー補佐

植松 信安

鹿島RC



2022年12月10日から2023年6月13日まで計6回の次年度ガバナー補佐会議に於いてガバナー補佐としての職務のレクチャーを受け、その間2023年2月18日に緒方ガバナーより第3グループガバナー補佐を委嘱されました。もう間もなくその役目が終わろうとしていますが、緒方ガバナーが掲げられた8つの運営方針にどれだけ寄与できたかを考えると反省ばかりです。2740地区第3グループの役に立ったのか、在籍して今までのロータリー活動の経歴ではお役に立てなかったことをお詫び申し上げます。

第3グループの各クラブに於かれましては、新年度に入りクラブ協議会に私自身どうなることやらと不安ばかりで訪問させていただきましたが、その度に快く温かく出迎えていただきありがとうございました。7月11日鹿島ロータリークラブから始まり9月7日の太良ロータリークラブまで、クラブ年次計画チェック作成のための質疑にも丁寧に応じていただきありがとうございました。皆様のご協力のおかげでガバナー公式訪問例会も大した問題なく終えた事に安堵しております。

1月31日に太良ロータリークラブホストのもと、第1回会長幹事会が開かれ、主に5つの講義事項について皆さんでご協議頂きました。大変有意義な会長幹事会並びに懇親会だったと思います。

3月13日に有田ロータリークラブのお世話になり親睦ゴルフコンペが開催され懇親会まで多くの参加者と盛り上がりました。また、3月16日にはIMが祐徳稲荷神社参集殿で開催されました。千葉副ガバナー、村瀬地区幹事を始め、第3グループより多くの参加を頂きました。第2620地区浜松ハーモニーRC安間みち子パストガバナーによる講演「世界に希望を生み出そう～ROTARY NOW～」を拝聴し多くの事を学び、講師のロータリーにかける情熱やバイタリティーに圧倒された方も多かったのではないのでしょうか。

一年間を通して振り返ってみますと冒頭申し上げたように第3グループに何一つお役に立てず、皆さんと出会い懇親を深め、ただ私一人楽しんだ一年だったと反省しております。緒方ガバナー、千葉副ガバナー、村瀬地区幹事、運営スタッフの皆様、特に第3グループの皆様、大変お世話になりました。一年間のご協力、ご支援に深く感謝申し上げます。

第4グループ ガバナー補佐

山浦 義行

伊万里RC



ガバナー補佐を受けることになり、まずはロータリーについての学び直しから始まりました。幸い私の手元には入会間もない30数年前、千種会というロータリー勉強会で使われたテキストがありました。小堀憲助著「ロータリー運動とは」ともう一冊はガイ・ガンデイカー著「ロータリー通解」の2冊であります。この2つの書は、改めてロータリーの本質について私なりの理解をする機会を与えてくれました。同時に良くも悪くもロータリーの変化を目の当たりにすることになります。「不易流行」と言いますが、この「不易」の部分さえ変化してきているように思えたのです。そして、ロータリーの本質・目的を確認しておく必要性を感じました。各クラブの訪問が始まり卓話をするわけですが、「ロータリーの目的」という演題でさせていただきました。2月10日に開催したIMについても、『ロータリー不易流行』をテーマとして掲げ、第2680地区PG安平和彦君(姫路RC)に「日本のロータリーの発展と停滞について」という演題で語っていただいた次第です。緒方ガバナーの地区運営方針は「継続と革新の理想的なバランス」でありました。この継続という部分について特に重心を置く活動になったかもしれません。

唐津・伊万里地区6クラブをガバナー公式訪問などで訪問させていただきましたが、各々のクラブが個性豊かに活動をされており、会員同士の熱意と連帯感を感じる事ができました。就任期間中に2クラブの周年記念事業に参加させていただきました。唐津中央RCさんの創立30周年記念は、女性会長の生駒明子君のリーダーシップで素晴らしい周年記念事業が行われ、韓国の姉妹クラブの方々も多く参加され親睦を深められたことが印象に残ります。そして伊万里西RCさんの創立50周年記念事業は、手作り感満載でした。この記念事業で会員同士の連帯感が深まったということでもあります。改めてロータリークラブの親睦と融和の実践を垣間見る機会となりました。IM開催についてはホストクラブの伊万里RCさん、コホストクラブの伊万里西RCさん、そして多くの4グループの皆様のご参加ありがとうございました。

「新しい活動に挑戦しましょう！」として、緒方ガバナーの目標の一つでありました衛星クラブの設立には至りませんでした。研究会を設けて話し合ったクラブも有り、今後につながればと期待しております。ガバナー補佐としての役割を充分果たせたとはいえない状況ですが、会員の皆様そして関係事務局の皆様のご支援を得て役割を無事終えることができましたことを深く感謝申し上げます。緒方ガバナーの一日も早いご回復を願っております。



ガバナー補佐退任挨拶

第5グループ ガバナー補佐

井上 正人

佐世保西RC



前年度のクラブ会長から引き続き、今年度はガバナー補佐を拝命しました。来月末で退任となりますが、あつという間の1年でありました。

ロータリー歴が短く、何をしても良いか手探り状態の活動でしたが、ガバナーをはじめ副ガバナーや地区幹事、各委員の皆様、各グループのガバナー補佐各位に、ご指導いただきまして何とか職責を果たすことができましたと実感しております。

お世話になった皆さまに心よりお礼を申し上げます。

また、第5・第6グループの各クラブ会員の皆様はじめ、会長、幹事の皆様には、IM開催において、多大なご協力、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。特に、第6グループの佐世保東クラブと佐世保西クラブの合同開催を企画したところ、大木ガバナー補佐をはじめ会長幹事、会員の皆様に快く受けて頂きました。会員数が少ないクラブで、できる範囲の内容でしたが、何とか収める事が出来たと思います。東クラブの皆様のご協力、ご支援に重ねて感謝申し上げます。

また、第5グループ所属クラブの会員の皆様には、公式訪問をはじめ合同例会や会長、幹事会に、ご招待いただき何時も温かく迎え入れてくださいました。日頃お会いすることが少ない会員の皆様と親睦を深められた事は、これからのロータリー活動においての財産と思っております。

すべてにおいて感謝の言葉しか出てこない経験をさせて頂きました。皆様には今後とも、変わらぬお付き合いの程お願い申し上げ、退任の挨拶に代えさせて頂きます。

第6グループ ガバナー補佐

大木 亮諄

佐世保東RC



振り返れば誠に早い一年でした。就任前の6月、第6グループの各クラブにご挨拶に伺いましたが、緊張の連続で、その流れのままに7月の新年度を迎えたのを思い出します。7月～10月にかけて、クラブ協議会、公式訪問を重ねるうちに、各クラブの会長・幹事さんとも、コミュニケーションが取れるようになり、ようやくそのクラブの雰囲気にも馴染んでいけるようになりました。そのような中で、ロータリーには各クラブの独自性があるということをつくづく感じた次第です。同じ市内でも全く同じようなクラブというのは一つも無く、それぞれの特徴を活かした、クラブ運営、クラブ造りがなされているということも学ばせて頂きました。

今年度の地区大会は、佐世保北ロータリークラブがホストクラブとなり、第5、第6グループの各クラブが、コ・ホストクラブとなって開催されました。殊に緒方ガバナー、千葉副ガバナーを中心として佐世保北ロータリークラブの皆様の計画性の高い運営のおかげで、参加者の心が一つになるような感動的な大会となりました。皆様方の思いが凝縮された大会ともいえると思います。またポリオデーイベントを、九州4地区合同で開催するという初の試みも行われました。

3月8日に開催された第5、第6グループ合同のIMでは、多くの会員のご参加を頂き、盛会裡に終えることが出来ました。コロナ禍でなかなか思うように人と会うことが出来なかっただけに、ロータリーの形である、人との触れ合いから始まる親睦が、改めてその原点に帰ることができたのではないかと思います。ホストを務められた佐世保西ロータリークラブ、佐世保東ロータリークラブの皆様、誠にありがとうございました。

この一年で新型コロナウイルス感染症が5類感染症移行となり、ロータリー活動にも以前の形態が戻ってきました。私達の意識の内には大きな変換を余儀なくされましたが、今こそ親睦、寛容、多様性といったロータリーの精神を見つめ直す時と感じた次第です。

結びに、ご指導賜りました緒方ガバナー、千葉副ガバナー、村瀬地区幹事様を始め地区役員、事務局の方々に心より感謝申し上げます。そして第6グループの会長幹事様、会員の皆様には大変お世話になりました。至らない点ばかりでしたが、あらためて御礼申し上げます。

皆様方のクラブが益々繁栄されると共に、第2740地区の発展を心よりお祈り申し上げ、退任の挨拶と致します。



## ガバナー補佐退任挨拶

第7グループ ガバナー補佐

永橋 秀光

島原南RC



第7グループの皆様、私が思いがけずガバナー補佐を務めさせて頂きましたが、早くも一年が経過してしまいました。各クラブを訪問した折には、どのクラブでも温かい歓迎を受け恐縮に感じ、大変有難く心より感謝申し上げます。

ロータリーは素晴らしい！！

沢山の方々との出会いに恵まれ、様々な体験ができたこの一年は、私の人生におきましても何物にも代えがたい一生の宝物となりました。

ロータリーの綱領の第一に奉仕の機会として、知り合いを広めることとあります。ガバナー補佐を務めさせて頂いたことにより、図らずも私自身がこの綱領の第一を皆様のご協力の元、実践させて頂いたと感謝しています。

また、ロータリアンのスピーチで、私自身の事業などについて「運が良かった」「廻りの人をはじめ縁に恵まれた」と感謝の気持ちを改めて感じる事が多く、今後この感謝の気持ちを行動に変えることが「恩返し」だと考えております。ロータリーとは、「恩返しをする機会を得られる組織」でもあるのだと思います。

ガバナー補佐の責務を無事終えるにあたり、ご支援いただきました第7グループ各クラブの会長、幹事、会員各位の皆様、そして心強いバックアップを最後までしてくださったホームクラブの永野会長、松尾幹事、他会員各位、すべての皆様方の温かいご支援・ご協力に心から感謝とお礼を申し上げますと共に、皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念し、退任のご挨拶と致します。

一年間ありがとうございました。

第8グループ ガバナー補佐

橋本 満典

諫早多良見RC



第8グループ（諫早RC・諫早北RC・諫早西RC・諫早多良見RC・雲仙 諫早南RC）ガバナー補佐を拝命いたしましてから間もなく一年となります。各クラブの会長、幹事をはじめ会員の方々にはご理解とご協力を賜り何とか役目を終わらせていただこうとしていることを有難く思っております。

7月から始まった [クラブ協議会] を皮切りに [ガバナー公式訪問例会] も無事終了し、千葉副ガバナー、村瀬地区幹事には感謝申し上げます。また、5クラブ合同で行なった「のんご諫早まつり」でのポリオ根絶募金活動、第7・第8グループでのIM（インターシティミーティング）もお陰様で実施することが出来ました。ロータリアンの友情に改めて感謝いたします。振り返りますと、本当に各クラブと地区とのパイプ役が果たせたのか不安もありますが、寛容な心でお許しいただければ幸いです。

最後に、緒方ガバナーの一日も早い完全なお体のご快復を願いますとともに佐世保北RC会員の方々および事務局の皆様にご挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

## ガバナー補佐退任挨拶

第9グループ ガバナー補佐

天本 俊太

長崎RC



2023年～24年度の1年間 第9グループ(長崎・福江・長崎北東・福江中央・長崎西長崎琴海) 6つのクラブを担当するガバナー補佐を務めさせていただきました。

2020年より続いて居た新型コロナによる制限も、2023年5月より、2類から季節性インフルエンザと同等の5類に移行し、規制等が緩和された為、担当の1年間、対面対話による好意と友情を深める訪問を行う様に心掛けながら、RI、緒方信行ガバナーの方針の伝達をさせて頂くと同時に、各クラブが抱える問題点の確認をさせて頂くため、7月より各クラブアッセンブリーへの参加、ガバナー公式訪問への準備、随行をさせて頂きました。その間、各クラブには、時間が無い中で日程の調整、資料提出等を頂き、誠に有り難うございました。特に五島の福江RC、福江中央RCさんにはこちらの都合にご配慮して頂き、心より感謝申し上げます。

地区の行事としては、2023年10月27日～28日佐世保で行われました地区大会が盛大かつ成功裏に開催された事に感謝致しますと同時にホストクラブ長崎東RC、コ・ホストクラブ長崎中央RCによる、2024年3月3日に行われた第9・10グループIMが、両クラブメンバーの甚大なるご協力により盛会の内に無事終了する事が出来た事に重ねて心より感謝申し上げます。

第9グループ内では、4月13日福江RCの60周年、4月24日に長崎北東RC50周年に参加させて頂き、各クラブの歴史、設立の理念に触れることが出来、とても勉強になりました。

最後になりますが、ガバナー事務所の皆様、地区役員、各クラブの会長、幹事、メンバー、そして長崎RCのご協力、ご指導に心より感謝を申し上げ、退任の挨拶に代えさせていただきます。

## 地区委員長退任挨拶

R L I 推進委員会

帯屋 徹

大村RC



RLI推進委員会は発足3年度を迎え、現在委員とファシリテーターの22名のメンバーで構成され各クラブへのロータリーリーダーシップ研修会(RLI)の浸透と理解を深めるよう積極的に活動を展開いたしております。

特に毎年力を入れて開催しているのがRLIの3日間ZOOM方式による研修です。本年度もPart I 12月10日・Part II 1月28日・Part III 2月25日の3日間、午前10時より午後5時までの1セッション1時間で各6セッション合計18セッションをファシリテーション方式で受講いただきました。参加者は50名を超え、3日間の終了証書を受け取られた方は23名でした。都合で欠席された方は次年度休んだパートだけ受けて頂けたら終了証書を貰えます。

もう一つの重点としているのがファシリテーターの育成です。修了者にファシリテーターとして一緒に活動して頂きたく、「ファシリテーターの勉強会」を卒後研修として6月8日に開催します。

本年度RIの方針では2023年7月よりロータリーの研修方法をトレーニング(研修)からラーニング(学び)へと変更する旨の通知が参っております。従来のトレーニングからラーニングに変更になり、参加者自身のラーニング(学び)がこれからの研修スタイルになります。

具体的にはロータリーの研修は、従来の講義スタイルからファシリテーションスタイルに変更になるということであり、実はRLIと同じ研修モデルとなります。これに対応するには各クラブは1～2名程度のラーニングファシリテーターが必要とされています。ファシリテーターの育成が各クラブの緊急の課題になっております、今現在2740地区のファシリテーターは、20名弱です。クラブに一人としても55人の仲間が必要です。是非各クラブのリーダーになられる皆様にはRLI研修を受講いただき、共に学び各クラブのラーニングファシリテーターとして各クラブの発展に寄与頂きます様お願いを申し上げます。

最後になりますが1年間RLI推進委員会発展のためにご協力いただきました緒方ガバナーを始め地区事務所のみなさんや委員会やファシリテーターの皆様、受講されたロータリアンの皆様、出前卓話を受け入れてくださいましたクラブの皆様にも心より御礼を申し上げ1年間の報告といたします。

## 地区委員長退任挨拶

クラブ管理運営委員会

野田 初憲

神埼 R C



昨年度に引き続き、クラブ管理運営委員会の委員長を務めさせて頂き、年度の終わりに当たりまして、ご挨拶申し上げます。

クラブ管理運営委員会の役割は、クラブの効果的な運営のために各クラブと連携を図りながら活動することで、ロータリーライフの充実・向上の一翼を担う重要な部門と認識し、本年度こそはアフターコロナの中で活動計画に基づいた取り組みを実践し、一定の成果をあげたいと考えておりました。そのような中、昨年9月に諫早・鎮西学院において職業奉仕合同セミナーを開催することができました。今回、初の試みとして9委員会が結集しての合同開催で、講演会後は其々の委員会の持ち味を生かした分科会を行い、大変盛況で有意義な合同セミナーとなりました。

この一年を振り返り、活動方針に沿った役割を十分に果たすことが出来たのだろうかかと反省点もありますが、今後へと繋げることができる活動ができたのではないかと感じております。

次年度につきまして、改めて私が委員長を拝命する予定となっております。次年度においては、地区方針に基づき、クラブ管理運営委員会として重点目標を掲げ、引き続き効果的で円滑なロータリー活動・運営や、革新性と柔軟性を持ったクラブ運営に精一杯努めて参りたいと考えております。

最後に、一年間お世話になりました御礼と、次年度の更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。

一年間本当にありがとうございました。

会員増強委員会

久保 泰正

諫早西 R C



皆様、こんにちは。

本日は、会員増強委員長として最後のご挨拶をさせていただく機会をいただき、誠にありがとうございます。まずは、この一年間、ご支援とご協力を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。

今年度、私は会員増強委員長として様々な活動を試みました。特に、いくつかのクラブに個別に訪問し、会員増強に関する卓話を行う機会をいただきました。これらの訪問を通じて、各クラブの実情や課題がそれぞれ異なることを実感いたしました。それぞれのクラブが抱える固有のニーズや課題に対して、柔軟かつ適切な支援が求められることを痛感しました。

また、9月のセミナーの分科会では、3年以内の新会員を対象に意識調査アンケートやファシリテーションを通じて意見交換を行いました。具体的には、新会員研修を実施し、ロータリーの理念や活動の意義について深く理解してもらうことを目指しました。この研修

を通じて、新会員が自身の役割を再確認し、より積極的に活動に参加する意欲を高めることができました。

この一年間の活動を振り返ると、目標としていた大きな成果を上げることができず、期待に応えられなかったことを誠に申し訳なく感じております。しかし、この経験を通じて多くの学びがありました。会員の皆様と共に取り組む中で、ロータリーの理念を共有し、地域社会への貢献を目指すことの大切さを再確認しました。

幸いにも、次年度も引き続き会員増強委員長を務めさせていただくこととなりました。次年度こそは、今年度の反省を活かし、具体的かつ実効性のある施策を通じて、目に見える成果を上げることを目指します。新規会員の獲得や既存会員のエンゲージメント向上に向けて、より戦略的な計画を立て、皆様と共に実践してまいります。

具体的には、新会員研修の内容をさらに充実させ、ロータリーの魅力を広く伝える活動を積極的に展開していく所存です。また、会員同士の絆を深めるイベントや交流の機会を増やし、全員がロータリー活動に対して誇りを持てるような環境を整えていきます。

この一年間の経験を糧に、次年度は必ずや成果を上げ、皆様の期待に応えられるよう全力を尽くしてまいります。皆様からのご意見やご提案を頂戴しながら、共により良い未来を築いていけるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、この一年間のご支援とご協力に改めて感謝申し上げます。引き続き、次年度もよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



地区委員長退任挨拶

公共イメージ委員会

公門 新治

佐世保北RC



「継続と革新の理想的なバランス」緒方ガバナーの掲げられた地区運営方針に則り、1年間活動させていただきました。年頭にも挙げました現在のロータリーの課題として、「ロータリーのことを知っているが、ロータリーが何をしているか知らない」この状況を改善するために最大限のPRをしなければいけないと、広報活動に力を入れてきました。1番大きな動きとして、地区大会当日に行われた、九州4地区合同公共イメージ向上事業としてのポリオデーのイベントがありました。ロータリーの優先事項である「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」という内容を網羅した事業であり、4地区合同という初の試みに他地区からの注目も集めておりました。また内部のロータリアンへの情報共有として、公式WEBサイトでの奉仕活動の事例紹介、各セミナーで使用された資料の公開等も行ってきました。今年度はかないませんでした、公式LINEの活用や、WEBサイトの見直しも次年度への課題として引き継いでいきたいと思います。

「世界は絶えず変化しています。そして私達は世界とともに変化する心構えがなければなりません。ロータリーの物語は何度も何度も書き換えられなければならないでしょう。」

2740地区の皆様には地区活動にご協力、ご理解頂きありがとうございました。一年間の感謝とお礼を申し上げます。

職業奉仕委員会

矢野 京子

諫早北RC



今年度より地区職業奉仕委員会の委員長を仰せつかり年度末のご挨拶を申し上げます。

地区職業奉仕委員会では毎年行っております「地区職業奉仕セミナー」を9月16日に開催致しました。講演者に2620地区パストガバナー小林聡一郎様をWEBにてお招きし2部構成で「ロータリー概論・ロータリーは一日にして成らず」と「ロータリーの正統・日本の職業奉仕」という題目で講演を頂きました。その後各委員会で分科会を開き職業奉仕委員会ではクラブ会長、幹事を対象に「アウトプットする為の職業奉仕ディスカッション」を行いました。活発な意見交換が出来たと思います。

もう一つの事業と致しまして「新入会員への職業奉仕WEBディスカッション」を毎月開催しました。対象会員は延べ117名の参加がありました。職業奉仕の理解やロータリーの目的・理念についてしっかりと熟知して頂き、実践まで理解して頂いております。

次年度は新会員だけではなく全会員を対象に引き継ぎの継続事業とする事に致しました。

まだ職業奉仕が何となく解らないと言う方は是非次年度の「職業奉仕WEB勉強会」へご参加されてください。

一年間委員長を務め改めて地区委員の協力に感謝致しますと共に引き続き次年度も宜しくお願い致します。

## 地区委員長退任挨拶

社会奉仕委員会

### 小山 淳也

佐賀空港 R C



2023-2024年度 社会奉仕委員会の活動方針は、「社会奉仕活動を通してロータリーの公共イメージと認知度を向上させよう」をテーマに活動計画をしました。活動の報告としてまとめました。

#### 活動報告1 ロータリー奉仕デーへの積極的参加

主として第2740地区全体でロータリー奉仕デーを開催することができました。多くのロータリアンを含めそのご家族の方や友人知人、社員の方、地域のボランティア、スポーツイベントとのコラボ等、様々な関わり方や活動のやり方もあり有意義な活動だったと思います。今後の環境保全に対する事や公共イメージアップにもつながったと思います。コロナ禍に始まったこの地区を挙げてのロータリー奉仕デー。各クラブでの伝統事業と発展していくことを期待しています。

#### 活動報告2

職業奉仕合同セミナーへの参加開催。  
私が受け持った社会奉仕のファンレクションも30名を超えるロータリアンが参加いただき、有意義なディスカッションが出来ました。  
初めての地区委員長で初めての合同セミナーでした。  
他の地区委員長との交流もあり自分のスキルアップにつながりました。

#### 活動報告3 「ひとり親家庭支援」について更なる認知度の向上

前委員長からの引継ぎ事業でしたが、メインが長崎県の子ども支援事業ということと、私が佐賀県神埼市で事業を営んでいることから、うまく開催することが出来ず、具現化までできませんでした。  
あわてずコツコツと継続していく事が大事な事だと感じました。

最後になりますが、社会奉仕事業活動にご協力を賜りました多くのロータリアンの皆様にお礼を申し上げます。  
また、地区事務局の皆様やその他関係者の方々もありがとうございました。  
今後、地区の活動に参加されますロータリアンのご活躍をお祈り申し上げまして、地区社会奉仕委員長の退任の挨拶とさせていただきます。  
本当にありがとうございました。

ローターアクト委員会

### 安永 恵子

佐賀 R C



ローターアクトクラブは、18歳以上の青少年が奉仕活動を通じながら親睦を図りリーダーシップを育むことを目的としています。当地区は6つのクラブがあり、ジャズアンサンブル活動と並行してローターアクト活動をしている大学のクラブ、復会して勢いに乗っているクラブなど、それぞれ溢れんばかりの個性を発揮しています。

2023-2024年度は、ロータリーファミリー構想のもと、様々な委員会から声をかけていただき、ローターアクトの活動範囲を広げることができました。2023年9月には職業奉仕合同セミナーに参加し、奉仕の理念について理解を深めました。同月にはインターアクト指導者研修にも参加し、インターアクトとの交流を図ることができました。同年10月の地区大会では、ポリオデーイベントの募金活動をインターアクトや米山奨学生などと共にしました。

このように、ローターアクトがロータリアンや他の青少年と交流を深め、将来的な展望を描く機会を頂きましたことを大変有難く思っております。

今後は、ローターアクトの活動を知っていただくためにも、ぜひ、ロータリアンや青少年の方々にローターアクトの行事に参加していただけたらと考えております。ローターアクトの地区活動は、地区内のローターアクトが集まるインターシティミーティング、地区年次大会、地区代表と地区委員長が各クラブを訪問する公式訪問例会といったロータリーと同様の行事があります。2023-2024年度はこのような行事の周知を十分にすることができませんでしたので、2024-2025年度はローターアクトの活動方針に沿いながら、広報活動に力を入れてまいります。

末筆ではございますが、未熟な地区委員長を叱咤激励していただきました地区役員の皆様方、他委員会の委員長様、ローターアクト地区委員の皆様方には心より感謝申し上げますとともに、次年度以降もローターアクト委員会に更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

地区委員長退任挨拶

国際青少年交換委員会

徳永 隆信

有田RC



国際青少年交換委員会として、今年度は激動の一年でした。7月の第一回オリエンテーションには、千葉副ガバナーと村瀬地区幹事が視察に訪れました。後日話を伺うと、当委員会の活動が適切でなければ停止も辞さない覚悟でいらしたとのことでした。しかし、流暢な英語で帰国報告をする成長した留学生を見て、この委員会の活動を地区全体に広めるべきとの考えに至ったそうです。

その後も、8月の第二回オリエンテーションではカナダからの留学生を受け入れ、9月の候補生選抜など、当委員会は年間を通じて多くの行事をこなしてきました。これにより、現委員会メンバーだけでは手一杯であることもご理解いただけたと思います。また、地区内で誤解が生じていることを払拭する提案を受けました。半年間見守っていただいた提案は、当委員会の活動が真つ当であると認められた証であり、スムーズな運営のためには皆様のご理解を得る最良のタイミングだと考え、4月21日にセミナーを開催しました。

このセミナーには50名以上が参加し、委員長の話に加え、留学生や保護者にも登壇してもらい、委員会の活動が人生に深く関わっていることを伝えました。さらに、次年度の候補生の行き先も決まり、皆様の前で抱負と感謝を述べることができました。出す側、受け入れる側の絆が深まる瞬間を共有できたことは、次年度への重要なメッセージとなったことでしょう。今後も皆様のお力添えにより、当地区の青少年育成の実情をしっかりと伝えていきたいと思えます。

委員長を賜り、先輩方から3年間続けるようにとの指示を受けた1年目、改革期には多くの労力が必要ですが、諸先輩、委員会メンバー、現ガバナーと地区幹事、そして石坂ガバナーエレクトと森次年度地区幹事など多くの方々の意見を取り入れながら今後も進めてまいります。最後に、一年間お世話になりました御礼と共に、次年度も多くの皆様の御意見・ご協力を賜りながら進めて参ります。

インターアクト委員会

川島 雄輔

唐津RC



地区インターアクト委員会委員長として年度の終わりにあたりご挨拶申し上げます。

思えば1年前は、初めての地区インターアクト委員、しかもいきなり委員長を拝命し、何もかもわからないことだらけで不安ばかりのスタートでした。

しかし、同じクラブの先輩でもある徳川清隆ロータリーファミリー委員会委員長にたくさん助けていただき、また地区委員や提唱クラブの担当委員の皆様、インターアクトクラブを抱える学校関係者の皆様に支えられ、なんとか1年間の主要な行事をこなしてこれました。

この1年間の活動については、当初の不安を払しょくして余りあるほどの充実感があるものでした。大会での交流や研修での学びを通じてたくましく成長していくインターアクターのみなさんの姿を目の当たりに出来たことは、望外の喜びでした。彼ら彼女らの活動を通じて、僕自身も少しは社会のお役に立てたかと思うと、これ以上に嬉しいことはありません。成果というものはおこがましいですが、指導者研修において初めてフィールドワークを取り入れてみて、これが一定程度成功といえる内容となったことは自信にもつながりました。

もちろん反省点は数え上げれば切りがありません。

1つは、年間を通した全体の流れが分かっておらず、全てにおいて準備不足となってしまう感が否めません。

また、地区とクラブ、ガバナー事務所や年次大会実行委員会の皆様との位置づけや役割分担を理解できておらず、方々でご迷惑をおかけしてしまいました。

幸いにも、次年度も地区インターアクト委員会委員長の役を仰せつかっております。

次年度はこの反省を生かし、地区内22のインターアクトクラブ、そこに所属するインターアクターのみなさんが充実した奉仕活動を実践できるよう、地区としてしっかりと体制を整え、バックアップしていきたいと思えます。

ひとまずは1年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。



## 地区委員長退任挨拶

RYLA委員会

太田 陽子

大村RC



ここ第2740地区におけるRYLA事業は、多くの先輩方にご尽力いただき、1980年の第1回目開催から、昨年の第42回開催まで、「単年度制持ち回り方式」にて開催してこられました。本年度におきましても同じような形式にて開催しようと、昨年度の徳川委員長と共に予定者段階から動いておりましたが、近年のロータリークラブは、当地区に限らず、全国的に会員が減少し、更には高齢化といった問題も抱えている中、ホストをお願いしても難色を示すクラブがほとんどでした。

また、「新RYLA」に向け、2020-21年度に立ち上げられた「新RYLA検討委員会」において“持続性のある変化”について検討・協議がなされており、本年度は、それを実行するのに良い機会と捉え、「地区委員会主導方式」での開催を決定いたしました。リーダーシップトレーニングを受けた後のモチベーションを維持してもらう為、また受講後の成果が見えるよう、昨年のRYLA事業を受講したローターアクトに、本年度も参加してもらい、本年度の受講生には、ライラリアンとして今後も継続して、事業に参加して頂きます。

この度、2回の「意見交換会」を開催し、若い世代の方たちとの交流を図らせていただきました。情報化社会で育った若者たちは、スキルも高く、昭和時代に育った私たちとは、違った考え・チカラを持っていることに気づかされました。この若者たちにより、近い将来、“チームRYLA”を始動させ、ロータリーファミリーとしての交流を深めることができれば、新しいRYLA事業=新RYLAとして確立していくのではないかと思います。

最後に、多くのアドバイスを頂き、時間を共有して下さった千葉副ガバナーと委員会メンバーの皆様、また、RYLA事業へ参加のご協力を頂きました各クラブのロータリアンの方々に感謝申し上げ、退任挨拶とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

ロータリー財団委員会

岡村 康司

長崎南RC



2019年に当時の千葉憲哉ガバナーから委員長職を拝命して5年が経ちました。

この年の12月からコロナ感染が徐々に酷くなり、翌年の2020年から2022年までの3年間は、ほとんどのクラブで予定されていた補助金事業は中止になりました。

しかし、そういう中でもグローバル補助金/地区補助金奨学生の申請事業は中止されることなく粛々と進められました。今年度も2名のグローバル補助金奨学生を当地区内で輩出させています。

11月の財団月間では、この5年の間に30以上のクラブを訪問、卓話させていただきました。

財団の活動は多岐にわたり、委員会のメンバーも20名ほど在籍する大所帯です。

次年度の石坂ガバナー年度まで現メンバーで引き続き行いますが、一先ず今年度無事終了できましたことを感謝申し上げ退任のご挨拶といたします。

ありがとうございました。

地区委員長退任挨拶

補助金委員会

西川 義文

大村 RC



今年度は地区補助金申請時に予測していた1\$=130円の予想が円安により、当初予定していた各クラブへの補助金支給額が増え、補助金事業報告の決算書作成に各クラブ担当者にご迷惑をおかけしました。

地区補助金実施クラブからの報告書及び決算書については、これらの状況に鑑み適切に対処し、またロータリー財団本部(TRF)の地区補助金「授与と受諾の条件」に沿い、報告受理作業を進め、併せて2024-25年度地区補助金事業申請を補助金委員会にて精査し、TRFに申請いたします。

今年度は17クラブからの3,087,000円余の地区補助金資金として申請があり、各クラブの行う奉仕事業に活用されたものと喜んでます。

この他にも、地区補助金やグローバル補助金を使つての奨学生を世界中の大学院や研究施設へ送り出しています。ガバナー及び地区財団奨学委員会の承認を得て、現在3名を送り出す、作業を進めています。

現在も、多様な応募者や応募条件に合致していない方々からも多数の問合せもあります。担当する財団奨学小委員会(喜多清基委員長)は対応に忙殺され、厳しい時間的対応をされながらも、奨学生の留学先地区ガバナーや地区役員との交渉を経て、アメリカの財団本部へ申請書送付等大変な思いで執行されていることに、衷心より感謝申し上げます。

また、佐世保北クラブがフィリピンの農村へソーラシステムを設置し、農業経営の改善に役立つ奉仕事業(総事業額約1,400万円の概ね半額)へ地区WFより支援されます。

ただ、この地区補助金事業の元々の原資は、会員皆様のロータリー財団への3年前の年次寄付(ロータリーのシェアシステム)の成果であります。これからも、ロータリー財団への寄付は、地区内各クラブの行う奉仕事業に、国際的な人道支援や医療・保健等に活用されます。ポリオ撲滅へも含め「世界で良いことをしよう」を具現化出来る活動へのご協力をお願い申し上げます。

会員皆様のご協力に感謝申し上げ、退任挨拶といたします。

資金推進委員会

藤田 昭比古

島原 RC



一年間ありがとうございました。

この一年間あつという間ありがとうございました。何かやれたかと振り返って考えると、申し訳なく感じます。非常に心残りです。次年度もこの委員会で頑張ります。

ロータリーのことを未だにあまりよくわかっておりません。「学びなさい」との戒めと受け止め、次年度も務めさせていただきます。そしてロータリアンとしてもっと成長し頑張ろうと思っています。

本年度は一年間お世話になりました。次年度も更なるご協力の程よろしく願いいたします。

## 地区委員長退任挨拶

ポリオプラス委員会

村上 英毅

佐世保北RC



ポリオが根絶可能である5つの理由です。

1. ポリオウイルスの感染期間は1～2週間と非持続的
2. 感染経路は通常ヒトの排泄物だけが感染源であること
3. ポリオウイルスが自然界で生存し続けるには限界がある  
ヒトの体内以外では、長く生存することができない
4. ヒトが唯一の動物であること  
(動物を介して生存、拡大することは確認されていない)
5. ポリオワクチンの予防接種でウイルス感染を防ぐことができる

国際ロータリーのここ3年間の寄付目標は、年間5,000万ドル（約86億円）です。

ちなみに、日本で廃棄したコロナワクチンの金額は 4,126億円から6,600億円と言われています。

2024年5月でのWHO総会では幸いにも合意にはいたらず、先送りされたパンデミック条約及び国際保健規則(IHR)の改定案に対する懸念等、国際的なワクチン政策は色々問題あると思われませんが、皆様今後共、御協力宜しくお願い致します。

資金管理委員会

香月 章彦

佐世保中央RC



2023-2024年度緒方ガバナーの下、資金管理委員会地区委員長を務めさせて頂きました。初めての地区出向且つ地区委員長であり、やや難解な補助金の仕組みを理解するのに苦労はしましたが、諸先輩方からのご指導を頂きながら、なんとかすすめております。

今年度は、1\$=140円強と為替相場を予想し、補助金支給額を増額することが決まりました。このことで事業計画書及び事業報告の決算書作成に各クラブ担当者に大変ご苦勞をおかけ致しました。地区補助金実施クラブからの報告書及び決算書については、これらの状況に鑑み適切に監査し、ロータリー財団本部（TRF）の地区補助金「授与と受諾の条件」に沿い、報告受理作業を進めてまいります。会員皆様のご協力に感謝申し上げます。

次年度も継続して担当させていただきます。補助金が皆様のクラブ事業にとりまして有効活用できますよう、資金管理委員会として助言させていただければと考えております。今後もよろしくお願い申し上げます。



地区委員長退任挨拶

米山記念奨学委員会

松田 洋一

諫早北RC



2018年度から千葉ガバナー年度時に米山担当地区副幹事を挟み、6年間出向していた地区米山地区奨学委員会を今年度をもって退任いたします。6年間の内、2020年度～2024年度までの4年間、花島PG・塚崎PG・上村PG・緒方ガバナーの下、米山記念奨学委員会地区委員長を務めさせて頂きました。時のガバナーをはじめ、地区役員・地区委員の皆様には、大変お世話になりました。皆様のお陰で、米山委員長としての役割を微力ながら遂行することが出来ました。

最初に米山委員長に就任した時は、委員長の大変さを痛感させられました。まず、(1)米山奨学生、(2)お世話クラブ、(3)カウンセラー、(4)大学担当者、(5)地区内クラブ、(6)学友会、(7)地区委員、(8)米山奨学会の対応をし、各種オリエンテーションや寄付金集め等、1年を通じて継続的に事業があり、とても忙しい委員会でしたが、年度最後の修了式で奨学生を送り出す式典では、毎年その年度の苦勞が報われる様に感動していました。

今年度は、2年に1度開催されている米山学友会世界大会ですが、2年前の台湾大会がコロナ感染拡大の影響により中止となり、前回のモンゴル大会から4年ぶりに、日本のつくば国際会議場で『世界大会再会 in 関東』というタイトルで開催され、参加をして来ました。世界各国から学友が集まり、ロータリアンと総勢1200名余りの参加で大盛況でした。本会議の中で学友の1人が、「ロータリーとの関係は終わりますが、学友は死ぬまでロータリーの学友」といわれた言葉が印象に残っています。

米山奨学事業の成果は、学友がどれだけ魅力ある人に成長したか、形を問わず社会に貢献しているかです。学友の中には、自国の大学教授や官僚になっている人もいます。これらの学友が、今後ロータリー精神で世界親善・世界平和を推進して行くことを期待しています。

最後に、6年間米山委員会でお世話になりました御礼と、ロータリアンの皆様に米山奨学事業に対し、引き続き御理解と御協力を心よりお願い申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

ロータリーファミリー委員会

徳川 清隆

唐津RC



今年度、新しく編成された「ロータリーファミリー委員会」の委員長を退任するにあたりご挨拶を申し上げます。

ロータリーファミリー委員会の活動は、ロータリー活動の豊富な方と特に青少年奉仕に理解が深い委員の方々のご支援により運営することが出来ました。

9月に開催された職業奉仕セミナーでは、職業奉仕委員会との連携となり青少年奉仕部門のインターアクト委員会、ローターアクト委員会、RYLA委員会、国際青少年交換委員会の方々のご賛同により、ロータリーの奉仕理想について職業奉仕に導かれる青少年奉仕から繋がる意味合いを深めようとし、参加者の視点で理解が深まるよう努力しました。実践活動が主体となる青少年奉仕活動ですが、職業倫理をいかに問うのかを導き出そうとしましたが、若い方々(青少年)には少々難があったようです。今後の取組む課題として、職業奉仕理念への論理形成が課題点と受け止めています。一方、何よりも、若い方々(青少年)が

ロータリアンと一堂に会し奉仕の理念を共有できたことは良い機会であったと思います。そして、今後の事業で、青少年奉仕部門を中心とした委員会連携が取れることを期待したいと思います。

今年度、委員会が注力した点は、プロジェクトに参加された方々、特に若い方々(青少年)にとって、ロータリーの奉仕理念を理解して頂き共感が持てるような機会を作り、ロータリアンとの交流と親睦ができ、私達ロータリーが望む次世代のリーダー育成に繋げていくことです。RYLA(ロータリー青少年指導者育成プログラム)事業がその目的に合致したと考えます。参加された若い方々(青少年)たちが、リーダーシップスキルの向上とともに学び合い、同志との友情や、ロータリーへの奉仕理念を受け止めて頂いたのは、私たちロータリアンにとっても良い事業であったと思います。今後、ロータリアンと若い方々(青少年)がロータリーファミリーの一員となり、お互いに尊重し合い、お互いに理解しながら、ロータリーの奉仕理念を将来に繋いでいくことを切に望みます。

最後に、今年度、委員会は暗中模索の中でスタートし、ロータリーの青少年奉仕の理念のもと地区の更なる発展に微力ながら寄与できるよう活動してきました。これまでの皆様のご協力とご支援に感謝し、退任挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

## 国際青少年交換委員会セミナー報告

国際青少年交換委員会 委員長 徳永 隆信 (有田 RC)

国際青少年交換プログラムのセミナーを4月21日(日)に東彼杵町総合会館にて行いました。長年継続して行われているこの事業ですが、このような地区の皆様に向けてのセミナーは初めてのことです。会員の皆様から人頭分担当をいただいていること、これからもたくさんの留学生を送りだしたいという気持ち、また今後もたくさんのクラブにこの事業を理解していただき参加をしていただきたいという思いから、準備にも力が入りました。

まず交換留学の現状、他の交換留学とロータリーの交換留学との違いなどをご説明し、ROTEX（ロータリーの交換留学の卒業生）の徳永君がZOOMで横浜から参加し経験談を話しました。また、自らROTEXであり、現在はご息子が交換留学中の松崎さんからは両方の立場からの経験談をお話いただき、参加の皆さまは熱心に聞き入っておられました。

また、4名のアウトバウンド候補生の留学先（アメリカ・カナダ・オーストラリア）もこの場で発表となり、歓声が上がる場面もありました。学生たちの留学に対する熱意や感謝の言葉に思わず胸が熱くなりました。

インバウンド学生は山形での全国大会に向けて日本語でのスピーチコンテストを行いました。両者ともだいぶ日本語が上達しており、甲乙つけがたい内容でした。参加の皆様にアンケートを取り、山形のコンテストにはジャスティンが出場することが決定しました。

内容を理解していただくには1日のセミナーではなかなか難しいですが、今後もこの素晴らしい事業を継続するためには会員の皆様のご理解は不可欠です。オリエンテーションは毎月行われていますので、興味を持たれた方はぜひご参加をお待ちしております。



## 長崎北東ロータリークラブ創立50周年記念報告

長崎北東 RC 会長 田中 徳之

長崎北東ロータリークラブは、令和6年4月24日、ザ・グローバルビュー長崎にて創立50周年記念式典・祝賀会を開催することができました。皆様のご厚情に感謝申し上げます、ご報告させていただきます。

当日は各地方各方面より、多くの皆様方にお集り頂きました。長崎県知事 大石賢吾様、長崎市長 鈴木史朗様、千葉憲哉副ガバナー、石坂和彦ガバナーエレクト、村瀬高広地区幹事、パストガバナー、ガバナー補佐、第9グループ・第10グループの会長・幹事、友好クラブである京都北東ロータリークラブ、金沢百万石ロータリークラブの方々にお祝いの言葉を頂き、盛大に執り行うことができました。

当日は4部で構成致しました。

第1部では、国際ロータリー第2800地区パストガバナー 鈴木一作様より“*What is Rotary?*”という演題で講演して頂き、ロータリアンとして①ロータリアン同士の友情の基盤 ②価値ある奉仕を行い ③立派なロータリアンを育てていく事などを学びました。

第2部式典では、長崎県知事 大石賢吾様のご祝辞を代理の陣野和弘様にご披露いただき、長崎市長 鈴木史朗様、そして千葉憲哉副ガバナー、最後にスポンサークラブの長崎ロータリークラブ会長 山口宏二様にご祝辞を頂戴いたしました。また、創立50周年記念事業として、今年3月21日(木)、長崎県庁に置時計を寄贈させていただいた旨のご報告をいたしました。職業活動表彰では、育成会が運営する障害福祉サービス事業所『エリア21』と母子家庭・父子家庭の親と子の明日への幸せ作りの事業所『ひとり親家庭福祉会ながさき』の2つの団体を表彰させていただきました。

第3部では、当クラブ創立50周年事業のテーマ“未来につなぐ”にちなみ、歴史エッセイスト 白駒妃登美様より、『人生に悩んだら日本史に聞こう～ 幸せの種は歴史の中にある～』をテーマに講演して頂きました。賢者は歴史に学ぶ・今を生きる私達に貴重な知恵を授けてくれる歴史。過去があり未来がある・礎があつてこそ未来、そして今について考える時間となりました。

第4部では、祝賀会をとり行い、多くの方にお祝いの言葉を頂戴いたしました。

この様に、大勢の方々にご臨席を賜りまして、無事、記念式典・祝賀会・講演会を挙げてきた事は、当クラブ光栄の至りでございます。これからも、益々会員の増員に力を入れ、全会員で邁進してまいります。どうぞ、今後共よろしくお願ひ申し上げます。



## 佐世保北ロータリークラブ創立40周年記念報告

佐世保北 RC 会長 松田 信哉

令和6年4月20日、ホテルオークラJRハウステンボスにおいて、佐世保北ロータリークラブ創立40周年記念式典・懇親会を開催いたしました。

当クラブの名誉会員の海上自衛隊佐世保地方総監 海将・俵千城様を始め、当クラブ会員でもある緒方信行ガバナー・村瀬高広地区幹事、そして副ガバナーとしてご尽力いただいている諫早北RCの千葉憲哉ご夫妻を迎え、盛大に挙行することができました。ご参加の皆様には大変感謝しております。

なお、クラブ歴史の振り返り、会員の懇親を会の中心に据え、近隣クラブ・関係者等へのご案内は控えておりましたところ、多数のご祝辞やお祝い・お花をいただきましたことに、厚くお礼を申し上げます。

さて、式典においては、40周年記念事業（ロータリー奉仕デーin黒島、若竹の家支援、現在進行中のフィリピンでのグローバル補助金事業、ゴルフ同好会事業）の発表が、各担当よりありました。その後、緒方ガバナーのご祝辞、当日は公務のためご臨席ができませんでしたが、当クラブ名誉会員の宮島大典佐世保市長から頂戴したご祝辞が披露されました。また、40周年の長きにわたりクラブに尽力されたチャーターメンバーの皆様にも、感謝状・記念品の贈呈が行われました。最後に、チャーターメンバーの富田耕司会員による「創立40周年を迎えて」の素晴らしいご挨拶をいただき、会員にとって貴重な機会となりました。

懇親会は、女性会員のハンドベル演奏、会員作成のビデオによるクラブ歴史の振り返りの後、当クラブOB会員（当クラブではOB会を設けており、OB会所属の皆様にもご参加いただきました。）の小西宗十様の乾杯で開宴しました。懇親会の中では、第2740地区唯一の衛星クラブの「佐世保北フレンドシップロータリー衛星クラブ」が余興を企画・担当し、「佐世保卸団地組合太鼓練成会」による勇壮な和太鼓演奏、「佐世保三ヶ町龍踊り実行委員会」による迫力ある龍踊りが披露され、会場は大いに湧きました。

そして、最後は、「手に手つないで」を皆で斉唱した後、俵千城総監による万歳三唱で会を閉じることとなりました。

以上、盛会のうちに終えることができ、ご参加いただいた皆様には改めてお礼を申し上げます。

当クラブは次の45、50周年へ向かって邁進していく所存ですので、各ロータリークラブ、皆様には今後ともご指導・ご支援いただきますようお願い申し上げます。



2024年3月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数			当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会		増減
第1グループ	佐賀	4	78.5	80	9	77	9	0	4	-4	-3
	小城	3	57.2	28	4	28	4	1	0	1	0
	牛津	3	81.0	31	0	31	0	0	0	0	0
	多久	4	80.2	35	6	34	6	0	0	0	-1
	佐賀大和	3	82.1	26	5	24	5	0	2	-2	-2
	小計		75.8	200	24	194	24	1	6	-5	-6
第2グループ	佐賀西	3	74.2	41	4	40	4	0	1	-1	-1
	佐賀北	3	77.5	45	3	44	3	0	1	-1	-1
	佐賀南	4	69.4	44	6	44	6	0	1	-1	0
	神埼	4	77.5	38	4	39	4	0	0	0	1
	佐賀空港	3	64.7	17	0	17	0	0	0	0	0
	小計		72.7	185	17	184	17	0	3	-3	-1
第3グループ	有田	2	58.1	31	2	31	2	0	0	0	0
	武雄	3	79.1	42	3	43	3	0	0	0	1
	鹿島	4	87.5	30	4	29	5	0	1	-1	-1
	嬉野	4	89.2	26	1	26	2	0	0	0	0
	大町	3	68.8	16	0	16	0	0	0	0	0
	太良	4	86.1	9	0	9	0	0	0	0	0
	小計		78.1	154	10	154	12	0	1	-1	0
第4グループ	唐津	4	85.5	54	0	57	0	0	1	-1	3
	伊万里	4	86.6	28	0	28	0	0	0	0	0
	唐津東	4	86.9	49	0	49	0	0	0	0	0
	唐津西	3	88.2	27	0	27	0	0	0	0	0
	伊万里西	3	90.5	30	2	34	4	1	1	0	4
	唐津中央	4	90.7	35	5	31	4	0	3	-3	-4
		小計		88.1	223	7	226	8	1	5	-4
第5グループ	佐世保	3	83.9	71	0	72	0	0	0	0	1
	平戸	3	58.0	22	4	22	4	0	1	-1	0
	北松浦	4	91.3	23	1	23	1	0	0	0	0
	佐世保西	3	71.1	23	4	21	4	0	1	-1	-2
	松浦	3	87.8	25	0	24	0	0	2	-2	-1
	小計		78.4	164	9	162	9	0	4	-4	-2

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数			当該月			累計		
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会		増減	
第6グループ	佐世保南	4	100.0	61	2	60	2	0	0	0	-1	
	佐世保東	3	68.3	24	0	26	0	0	0	0	2	
	佐世保北 (衛星クラブ13名)	4	87.2	55	5	53	4	0	0	0	-2	
	佐世保中央	4	93.4	51	2	53	3	0	0	0	2	
	佐世保東南	3	69.0	26	0	28	0	0	0	0	2	
	HTB 佐世保	4	83.8	22	3	24	4	0	0	0	2	
		小計		83.6	239	12	244	13	0	0	0	5
第7グループ	大村	4	81.0	40	4	39	4	0	1	-1	-1	
	島原	4	82.8	30	3	30	3	0	1	-1	0	
	大村北	3	87.2	24	1	24	1	0	0	0	0	
	島原南	3	55.5	14	1	18	3	0	0	0	4	
	大村東	3	76.8	34	4	36	5	0	0	0	2	
		小計		76.7	142	13	147	16	0	2	-2	5
第8グループ	諫早	5	70.1	76	0	77	0	0	1	-1	1	
	諫早北	3	73.4	76	4	77	3	2	1	1	1	
	諫早西	3	86.6	54	3	52	3	0	0	0	-2	
	諫早多良見	4	89.7	28	1	30	3	0	0	0	2	
	雲仙 諫早南	2	78.1	17	5	16	5	0	0	0	-1	
		小計		79.6	251	13	252	14	2	2	0	1
第9グループ	長崎	3	94.5	54	1	60	2	0	2	-2	6	
	福江	4	88.4	28	0	30	0	3	0	3	2	
	長崎北東	3	79.9	36	2	37	2	0	0	0	1	
	福江中央	3	97.9	17	1	18	1	0	0	0	1	
	長崎西	3	88.0	36	1	36	1	0	0	0	0	
	長崎琴海	3	66.7	7	0	7	0	0	0	0	0	
		小計		85.9	178	5	188	6	3	2	1	10
		小計		82.6	323	12	325	15	1	7	-6	2
第10グループ	長崎北	3	92.8	74	0	73	0	0	2	-2	-1	
	長崎南	3	75.0	69	0	68	0	0	3	-3	-1	
	長崎東	5	83.8	35	1	41	2	0	0	0	6	
	長崎みなと	3	79.5	28	1	27	1	0	0	0	-1	
	長崎中央	3	89.2	44	1	44	2	0	0	0	0	
	長崎出島	4	75.6	73	9	72	10	1	2	-1	-1	
		小計		82.6	323	12	325	15	1	7	-6	2
	55クラブ合計		80.5	2,059	122	2,076	134	8	32	-24	17	

\* 上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は2023年7月1日から2024年3月末までの増減です。



## 新会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々を紹介します。

※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



小城 RC  
田中 謙一 君  
(株)岩松自動車  
取締役



伊万里西 RC  
百武 誠 君  
陶都みらい法律事務所  
所長



諫早北 RC  
川井 大輔 君  
桜が丘保育園  
園長



諫早北 RC  
山村 健志 君  
行政書士山村健志事務所  
所長



福江 RC  
森 正明 君  
(有)もり塗装工業  
代表取締役



福江 RC  
市村 篤史 君  
焼鳥しん  
代表者



福江 RC  
野崎 薫 君  
フラワーショップ花の村  
代表者



長崎出島 RC  
中村 隆義 君  
(株)ライフプラザパートナーズ

## 寄付者紹介

ご厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を記載いたします。

### ロータリー財団

種 類	氏 名	クラブ名
マルチプルポールハリスフェロー	馬場 謙吾	鹿島
ポールハリスフェロー	大塚 信一郎	鹿島
	角田 一美	鹿島

ポリオ・ワンコイン BOX 報告

今月分 BOX 金額	142,915 円
合計 BOX 金額	2,814,630 円

### 米山記念奨学会

種 類	氏 名	クラブ名
メジャードナー	朝永 春郎	松浦
	為永 伸夫	大村東
	栗林 英雄	諫早北
米山功労者マルチプル	山下 正雄	唐津
米山功労者	坂本 慎一郎	唐津東
	下川 弘樹	佐世保南
米山功労クラブ		唐津東



## 私の国際大会

佐世保北ロータリークラブ 船津 学

2024年5月25・26日にシンガポールで開催された国際大会に参加してきました。創立40周年を迎えた佐世保北ロータリークラブからは松田信哉会長をはじめ、9名が参加。

大会前日の受け付けでは、各国のロータリアンが思い思いの民族衣装に身を包み、他国の会員との交流を楽しんでいました。インドの会員とは連絡先の交換も行い、これからの交流が期待されます。

大会当日は各国のスピーカーによるプレゼンテーションが行われました。ゴードン R. マッキナリーRI会長が、「メンタルヘルス」のあり方について、自ら命を絶った弟と彼を失った家族を例に、スコットランドの伝統的なスカート姿で身振り手振りで話される様子はとても印象的でした。

今回、国際大会に参加してロータリーの新しい世界に触れることができました。なにより一緒に参加したメンバー間の親睦が一層深まり、みんなの楽しそうな笑顔を見た時、クラブ国際奉仕委員長として携わってきた約半年の苦労も報われた気がしました。



※前月号 千葉まさこ様ご寄稿に掲載された写真はハンブルク大会の写真でした。訂正してお詫び申し上げます。



### 編集後記

ガバナー月信も、総集編を残すのみとなりました。第2740地区の活動、そして、皆さまのクラブのいきいきとした活動の様子をお伝えしてまいりましたが、いかがでしたでしょうか。1年を通じ、皆さまから多くのご指導、ご協力を賜りましたこと、ガバナー事務所一同、心より感謝申し上げます。

国際ロータリー第2740地区  
ガバナー事務所

〒857-0874 佐世保市京坪町2-3 Nビル2階  
TEL 0956-80-3148 FAX 0956-80-3164  
E-mail ri2740ogata@beatsc.jp  
URL <https://rotary2740.jp/>

WEBサイト▶

